



▲塀と桜を描いた「寂光」

——漆が乾くのを待つ時間があるため、複数の作品を同時進行で作成していくそうですね。
並木 特に個展などが控えていると、ある程度は合理的に考えながら、複数の作品を効率よく作っていく必要があります。それも作家としての務めだと思っています。

ふるさと・羽村と、未来への思い

——並木さんの作品に描かれている風景に、私たちが懐かしさを感じます。羽村の風景が重なるからでしょうか。
並木 私は羽村で生まれ育ち、今でも羽村に住んでいます。5分も歩けば

ば多摩川が流れ、田んぼがあつて、実際に描くさまざまなモチーフと出合える。私にとってこんなに幸せな街はないです。
 羽村という恵まれた環境で育ち、制作活動が続けられたことにとても満足しています。絵が好きで、美術が好きで、芸術が好きで、今の自分の身の置き所がある。羽村というバックグラウンドもある。これまで学んだこと、感じたことが今の自分を成り立たせています。作品にもそれが表れているかもしれませんね。
 ——昨年古希を迎え、個展も70回を超えたそうですね。これからの活動について伺います。
並木 日本人として漆という素材に

出合つて、家族をはじめ、いろいろな人に支えられながら、作品を作り上げてきました。これからは、自分の個性というか、自分なりの道を開いて歩んでいけるかがポイントになるでしょう。「これからどういう作品を作って終わっていくか」と言ってもいい。今はそういう**端境期**にいる気がします。
 ——そして作り上げた作品を大勢の人に見てもらえるということは、こんなに嬉しいことはありません。この部分はこれからも大事にしていきたいと思っています。



▶草花丘陵と多摩川を思わせる「月昇」



▲表面は磨きこまれて鏡のよう。厳しい目で出来栄をチェックする。



▲漆は、漆の木にキズをつけて取った樹液を使う。日本の漆は品質が良く並木さんの作品に合っているそう。

並木恒延さんプロフィール

- 1949年 西多摩村（現羽村市）に生まれる
- 1973年 東京藝術大学美術学部工芸科ヴィジュアルデザイン専攻卒業
- 1977年 東京藝術大学大学院漆芸講座修了
- 1981年 日本現代工芸美術展大賞受賞
- 1987年・91年 日展特選受賞。海外の作品展にも出品
- 2003年 日本現代工芸美術展内閣総理大臣賞受賞
- 2008年 文化庁特別派遣在外研修員としてイタリア留学
- 2019年 日本芸術院賞受賞
- ※現在は、日展会員・監事、現代工芸美術家協会理事

家族や地域の防災について考えよう

3月3日(火)～8日(日)は羽村市防災週間

防災講演会「当時、小学生だった二人がその時を語る」

～自身の命を守るために、大切な人を救うために知るべきこと～



未曾有の被害をもたらした東日本大震災から令和2年3月11日で9年が経とうとしています。

市では、東日本大震災の記憶を風化させないよう、羽村市防災週間を設定し、講演会や企画展、防災バスツアーなどを行います。

この機会に、家族や地域の防災・減災対策について考えてみませんか。問合せ 防災安全課防災・危機管理係 217



企画展「3・11あの日を忘れない 東日本大震災」

東日本大震災の被災地写真の展示や記録映像の上映（東松島市など）、家具転倒防止器具や非常食、手軽に用意できる100円防災グッズの展示などを行います。
 日時 3月3日(火)～8日(日)午前10時～午後4時（初日のみ午後1時～4時）
 会場 ゆとろぎ展示室

防災バスツアー「防災関連施設見学会」

市内の消防関連施設や防災備蓄倉庫などをバス・徒歩で見学します。非常食の紹介もします。
 日時 3月7日(土)午前9時～正午（予定）
 集合・解散場所 市役所1階市民ホール
 対象 市内在住・在勤・在学の方
 定員 20人（申込多数の場合は抽選）
 申込み 2月3日(月)～14日(金)（必着）に、電話またはメールで防災安全課 217へ
 〓s106000@city.hamura.tokyo.jp

震災の時、小学生だった講師の2人は、東松島市立大曲小学校で津波の被害に遭いました。震災後、同じ地区の高校生や野蒜地区の活動に影響を受け、「同じような被害を少しでも減らすため、その時何が起こったかを多くの方に知って欲しい」と震災を語る活動を始めました。当時小学生だったとは思えない確かで被災状況が表現されます。ぜひ、自分がどう備えるべきかを考えるきっかけにしてください。
 日時 3月5日(木)午後6時30分～8時（開場：午後6時）
 会場 ゆとろぎ小ホール



▲武山ひかるさん、高橋さつきさん 最年少世代の伝承者「東松島市学生震災ガイドTTT」の語り部として、全国で講演活動に取り組んでいます。

講師 武山ひかるさん、高橋さつきさん、鈴木貴之さん（コーディネーター）
 定員 250人（先着順）

■ ツアー行程

①市役所	災害対策本部、ヘリサイン、気象観測装置の説明など
②栄小学校	備蓄倉庫、マンホールトイレ、特設公衆電話の説明など
③いこいの里	福祉避難所、避難行動要支援者制度の説明など
④家屋倒壊等氾濫想定区域	家屋倒壊等氾濫想定区域などの説明、増水時の注意点など
⑤羽村市消防団第3分団車庫	消防車、装備品、活動紹介など
⑥東部地域備蓄倉庫	備蓄物資の説明、非常食の紹介など
⑦ゆとろぎ	防災企画展、施設紹介など

※コースは変更になる場合があります。

特に記載がない場合の受付時間は土・日曜日、祝日、年末年始を除く午前8時30分～午後5時です。申込みの記載がない場合は直接会場へ。費用の記載がない場合は無料です。